



TEAM FUKUOKA
「チーム福岡」福岡県選手団サポートニュース

4年連続8位以内入賞へ
後半戦も負けられない！！

福岡県選手団奮闘！ 6つの種目で入賞を果たす。

10月7日の福岡県選手団は、今大会より正式種目となったラグビー女子の3位入賞など、6種目で入賞を果たした。10月8日の実施競技は、バスケットボールの準々決勝、ハンドボールの準決勝など高得点が見込まれる競技が行われる。選手団のより一層の活躍に期待したい。

ラグビー女子、初代女王逃すも堂々の3位入賞!



ラグビー女子準決勝はリオ五輪日本代表選手を擁する埼玉県との試合となった。

前半、互角の勝負を展開するも前半終了間際にスクラムハーフ、スタンドオフが次々と負傷し、後半はメンバーチェンジして勝負するも突き放され10-29で惜敗した。

3位決定戦では、交代メンバーがいない7人ギリギリの戦いとなり、背水の陣の様相を呈した福岡県。相手は度々練習試合をして、お互い手の内を知っている島根県。最初に得点したのは福岡県。相手ボールをターンオーバーして切り返しのトライ。その後、一旦は逆転を許すも、終了間際にペナルティを獲得、そのボールをつないで、トライ、ゴールも決まって12-7と逆転して前半終了。後半も一進一退の攻防が続く中、スタンドオフが抜け出し中央にトライ、ゴールも決まって福岡がリード。その後も驚異のスタミナと意地で走り続け、福岡が29-7で勝利し3位入賞を決めた。

試合終了後の両チーム混じり合っただけで集まり写真に納まる姿に、スポーツの素晴らしさを感じた。



ハンドボール少年女子ベスト4 進出!



山口県との準々決勝は、前半、福岡県のカットインシュートで先制。一進一退の攻防が続く中、山口県の鋭いミドルシュートが立て続けに決まり、9対10の1点ビハインドで折り返す。後半、ディフェンスラインを下げ、守りを固めた福岡に対し、山口県は徐々に点数が止まってくる。反対に、福岡県は相手のミスや退場のすきを逃さず、連続得点を奪い逆転し、最大4点差まで広げる。終盤山口県も粘りを見せて追い上げられるが、福岡もサイドシュートで突き放し、最後は20対18でタイムアップ。

見事、ベスト4に進出した。



山岳 成年男子決勝進出



盛岡市の岩手県営運動公園にて、山岳競技の少年男子リード〈クライミング〉の予選、成年女子ボルダリング予選、成年男子ボルダリング予選が行われた。

少年男子は、ケガの中上選手に代わって、渡邊選手が出場することとなり、奮闘したものの、惜しくも予選12位という結果であった。

また、残念ながら成年女子も予選9位で、決勝進出を逃した。

成年男子は、昨年の少年男子の優勝者の緒方選手が出場し、予選8位で決勝進出を果たした。8日以降の順位アップに期待したい。



【各競技入賞者】（10月7日終了時点）				
競技名	種目	名前	所属	順位
ラグビー	女子（7人制）			3位
陸上競技	少年男子A 100m	南山 義輝	小倉東高等学校	6位
自転車	少年男子スプリント	梶原 海斗	祐誠高等学校	2位
アーチェリー	成年男子個人	前田 悠帆	グローリー	5位
	少年女子個人	竹下 紗衣里	折尾高等学校	7位
ゴルフ	成年男子個人	安部 寛章	長崎国際大学	8位

Team 福岡の現在状況と今後の展望

10月7日終了時点で、福岡県の男女総合成績は、変わらず11位となっている。注目すべきは、昨日最低条件としてあげた、愛媛、岡山を牽制しつつも、北海道、兵庫に追いつくこと。前日、10位岡山とは差を縮めることができたものの、9位兵庫、6位北海道にはわずかながら、点差を広げられている。12位の愛媛とともに13位に京都が迫っており油断できない。

今日から前回大会85点を獲得した、柔道が始まる。さらにハンドボール少年女子準決勝が行われ、決勝進出に大きな期待がかかる。前大会高得点を獲得している、陸上競技、バスケットボール、山岳、自転車なども行われているものの、昨年高得点を獲得した競技が早い段階で敗退する場面も多くみられていることから、こうした競技に期待しつつも、全選手が「1つでも上位に」という気持ちを持って戦ってもらいたい。前半戦、例年のような点数を獲得できなかった分、チーム福岡として最後まで諦めない戦いに期待したい。

男女総合成績(天皇杯)10月7日終了時点

順位		都道府県名	合計得点	前回大会順位
1位	➡	東京	1704.5	2位
2位	➡	埼玉	1294.5	4位
3位	⬆	大阪	1193.5	5位
4位	⬇	神奈川	1159	6位
5位	⬆	岩手	1110	16位
6位	➡	北海道	1077.5	9位
7位	⬇	愛知	1072	3位
8位	➡	千葉	1023.5	7位
9位	➡	兵庫	986	12位
10位	➡	岡山	949.5	11位
11位	➡	福岡	897.5	8位
12位	➡	愛媛	888.5	13位
13位	⬆	京都	846.5	10位

ワンポイントアドバイス ～うっかりドーピング～

長期戦や気温の寒暖差による疲労で体調を崩してしまった場合、早急に緩和する方法としては通常、医薬品や栄養剤、サプリメントの摂取を考える。しかし、摂取の際に厳重に注意しなければならないことがある。それは、その医薬品等に使用禁止物質が含まれていないかを確認することである。実は、使用禁止物質は普段から何気なく使用している栄養剤や風邪薬の中に入っていることが多く、禁止物質が入っていることを知らずに摂取してもドーピング違反となる。こうしたことを避けるために、医薬品等の摂取を検討する場合、まずコーチや監督に相談すること。摂取する際の判断は必ず専門家の指示に従うことが大切である。下記に専門機関の相談窓口を記載しているので活用しよう。

福岡県薬剤師会ドーピング防止ホットライン

【業務時間】月～金 9:00～17:30・土 9:00～12:00（日・祝日休）

【FAX】092-281-4104 【TEL】092-271-1585

チーム福岡 真のフェアプレーを目指して!!

国体の情報については、大会ホームページ (<http://www.iwate2016.jp/>) より、御覧ください。

【発信元】(公財)福岡県スポーツ振興センター スポーツ振興課 企画情報係